

# 地方都市視察報告書

自治・議会・行財政改革等特別委員会

## 1 実施日

平成30年7月4日（水）

## 2 視察地 三重県桑名市

### 【市の概要】

(1) 面積 136.6 km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数（平成30年4月末現在）

人口 142,796人

世帯数 58,669世帯



(3) 桑名市は、三重県北部に位置する都市である。平成16年12月6日に桑名市、桑名郡長島町、多度町の3市町村が合併（対等合併）して誕生した市である。伊勢平野と濃尾平野の境にある人口約14万人の都市。愛知県と岐阜県に接しており、名古屋市から25km圏に位置する。名古屋市のベッドタウンとして宅地開発が進んでいる。無形文化財に石取祭や連鶴の折り方の「桑名の千羽鶴」などがある。蛤（はまぐり）料理に代表される食文化を有し、ナガシマスパーランド、多度大社、六華苑、東海道の七里の渡しなど、豊富な観光資源に恵まれた三重県下屈指の観光都市である。機械・金属系を中心とする工業都市でもある。

木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）の河口にあり、北西部に養老山地、南東部に伊勢湾がある。伊勢神宮の「一の鳥居」が設置されるなど、伊勢国の東の玄関口として位置付けられる。その地理的条件により、江戸時代には東海道でも指折りの宿場町、城下町、港町として栄えた。

## 3 視察項目・内容

行財政改革について

## 4 視察参加者

### 【委員】

田中のりひで委員長

宮坂俊文副委員長

豊島あつし委員

木もとひろゆき委員

三雲崇正委員

川村のりあき委員

野もとあきとし委員

渡辺清人委員

あざみ民栄委員

吉住はるお委員

のづけん委員

伊藤陽平委員

かわの達男委員

### 【随行】

議会事務局次長

下杉 正樹

議会事務局議事係

濱野 智子

仙崎 雄介

## 5 視察結果・所感

桑名市へは、行財政改革を調査目的として視察を行った。桑名市の行財政改革の特徴としては、市町村合併に伴い地方交付税（普通交付税）が減少し財政的に大変厳しさを増しているため、社会情勢の変化等を踏まえた使用料及び手数料の適正な見直しが必要となった。この点では、一定の財政力を持つ新宿区とは事情が異なっていたが、受益者負担の考え方については、新宿区とも共通した手法が取られていた。

桑名市では、使用料及び手数料の適正化に係る議案が周知不足等により一旦は否決される事態となったが、その後、議会や市民への丁寧な説明が行われ、適正化に係る議案を再度提出し成立に至った。いずれにしても、受益者負担は市民の生活に直結し影響も大きいことから、合意形成の丁寧さを実感した。

## 6 主な質疑項目

- (1) 市民サービスと受益者負担の割合について
- (2) 改定率の上限の考え方について
- (3) 使用料及び手数料の適正化の提案が議会で否決された際の、各会派の賛否意見の内容について
- (4) 改定案の市民への周知方法等について
- (5) 使用料積算シートの人件費の考え方について
- (6) 使用料及び手数料の見直し以外の財源確保の取組みについて

## 7 その他

【共同視察者】総合政策部行政管理課長 宮端 啓介